

# はな 華

2019年9月15日 第61号

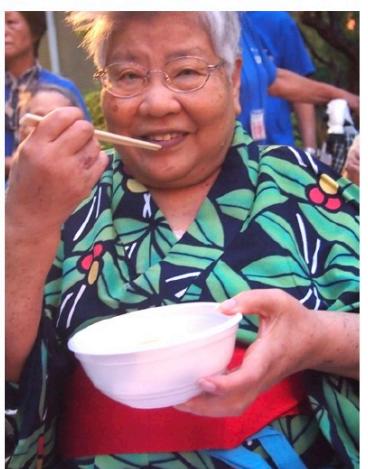
発行：社会福祉法人 三幸福祉会 特別養護老人ホーム 清華苑

発行責任者：総施設長 池田昌弘 編集：広報室 村上卓也、鶴岡大樹  
〒674-0051 明石市大久保町大窪3104番1 TEL 078-934-0800 FAX 078-934-0830 <http://seikaen.jp>

NO.61



PHOTO:2019/8/24 特別養護老人ホーム 清華苑にて納涼祭が開催されました。心配された雨も止み、ご利用者と職員みんなが笑顔になれました。



# 「納涼祭」



八月二十四日（土）毎年恒例の一大イベント納涼祭が開催されました。ご利用の方々も「まだかまだか」と心待ちにされておられました。外では櫓が組まれ、提灯がゆらゆらと揺れ職員、ご利用者共に浴衣・甚平に着替え準備万端。いつもと違った雰囲気にあちらこちらから「綺麗やな~」「よく御似合いですね」と言つた褒め合う言葉が飛び交いとてもいいスタートをきれました。先ずは「喜春太鼓演奏」太鼓の音が心地よく身体に響き渡りました。次に、「フラダンス」アロヒ・オ・ナープアさんのダンス。ご利用者も「アロハ」と楽しそうにされていました。

盆踊りでは「明石音頭」と「炭坑節」の二曲を踊りました。我々職員は踊りの練習をしてやっと踊れるようになりますが、ご利用の方々は普通に踊つておられ、昔取った杵柄は、やっぱり凄いなあと改めて思いました。

（介護員 柏田朝花）



そしてメインイベントの一年目職員による余興では子供たちに大人気の「パブリカ」のダンスが披露されました。コスプレの衣装もクオリティがとても高かったです！恥ずかしがりながらも胸を張って踊る姿に去年私達もみんな感じだったのだろうな。と懐かしく感じました。最後の花火では二年連続で櫓の上で歌うという大役を任せて頂きとても嬉しかつたです。途中ハブニングもありましたがそれもまた良い経験となりました。今年は花火もグレードアップし、見ごたえ充分だったのではないかでしょうか。準備など、とても忙しく大変でしたが、ご利用者の喜ばれる顔をたくさん見る事が出来て

（介護員 柏田朝花）



# 職員サークル活動レポート 「フットサルサークル」

フットサルサークルでは月一回程度、経験者・未経験者関係なく楽しんでいます。働いていると学生の頃のように身体を動かすことが少なくなるかと思いますが、職員の皆さんには運動の機会に是非フットサルサークルを活用してもらえればと思います。活動内容としてはほとんど試合をしており、それぞれの体力に合わせて運動量を調節することが出来ます。今年度は小さなものでも良いので大会に出てみたいと考えています。皆様に良い報告が出来るよう頑張りますので応援よろしくお願いします！

(清華苑養介センター 支援相談員 大久保健太)



## 医務室だより 「かけがえのない大切な時間」



暑い夏ももうすぐ過ぎ去ろうとしていますが皆様疲れが出ていませんか。充分な休息と睡眠をとりましょう。

八月は看護学生が十四日間にわたり主に食事介助やレクリエーション・入浴後の整容介助のボランティアに来てくださいました。ある日のレクリエーションは紅白対抗玉入れでした。運動会のBGMも流れ、昔を思い出して思い思いに紅白の玉を投げては「あー」と残念な声が上がったり、「おー」と感嘆の声が上がったりと、とてもいい雰囲気でした。なかには普段立位が不安定なご利用者が、車いすから立ち上がり真剣な表情で投げ入れたり、全介助のご利用者に紅白玉を握ってもらうと頑張りながらも小さく玉を投げることができます。普段の生活からは見られない笑顔や表情、闘志の違う一面を見る事ができました。

一時間ほどのレクリエーションではありましたが皆様の夢中になつて楽しんでいる姿を見て心に響くものがありました。私たちが休日にはスポーツや映画、食事、旅行をするように、また自宅で好きなテレビを見たり、音楽を聞くように、ここで生活されているご利用者も同じようにやりたいことも、お話をしたいこともあると思いま

す。

暑い夏ももうすぐ過ぎ去ろうとしていますが皆様疲れが出ていませんか。充分な休息と睡眠をとりましょう。

八月は看護学生が十四日間にわたり主に食事介助やレクリエーション・入浴後の整容介助のボランティアに来てくださいました。ある日のレクリエーションは紅白対抗玉入れでした。運動会のBGMも流れ、昔を思い出して思い思いに紅白の玉を投げては「あー」と残念な声が上がったり、「おー」と感嘆の声が上がったりと、とてもいい雰囲気でした。なかには普段立位が不安定なご利用者が、車いすから立ち上がり真剣な表情で投げ入れたり、全介助のご利用者に紅白玉を握ってもらうと頑張りながらも小さく玉を投げることができます。普段の生活からは見られない笑顔や表情、闘志の違う一面を見ることができました。

ご利用者にとって一日一日がかけがえのない時間です。私たち職員は、ご本人のやりたいこと、望んでいることを実現できるか、どうしたら、その人がその人らしく快適に過ごす事が出来るのかを考え、これからも大切な時間を一緒に過ごして行きたいと改めて思いました。

(看護主任 大島さおり)



# 「イズミヤお買い物ツアー♪」



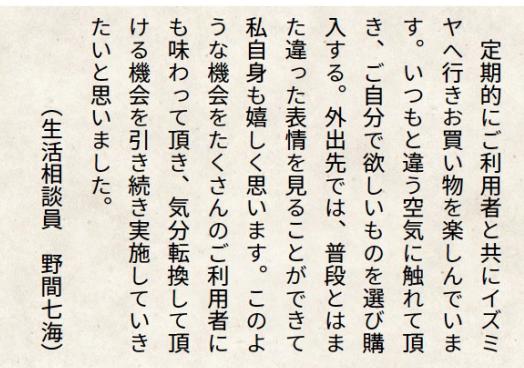
ご利用者からのお手紙紹介



イズミヤに連れて行つてもらえるなんて思つていなかつたから、並んでいる様々な品物をみて「あつ」と思いました。何年振りかの買い物、あれも買ったかつたし、これも買っておけばよかつたと後悔しています。それでも久しぶりの買い物は楽しかつたし、うれしかつたです。

(ご利用者)

N様 八十二歳 女性)



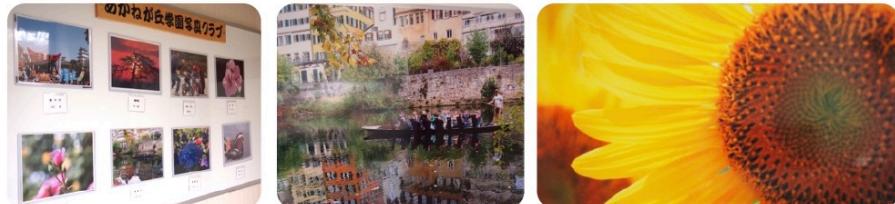
(生活相談員  
野間七海)



## ボランティア★ご紹介「あかねが丘学園 写真クラブ支部」様

今回のボランティア紹介は、「あかねが丘学園 写真クラブ支部」様です。いつも館内に素敵なお写真を掲示して頂いて、本当にありがとうございます。これからもいろんな景色で楽しませて下さい！

今後とも宜しくお願ひします。



### ●名前の由来

私たちは、あかねが丘学園のクラブ活動・写真クラブのO.Bで構成するグループです。あかねが丘学園は六十歳以上の市民が集う高齢者大学校です。本学園は「教養の向上」「生きがいの創造」「地域社会活動への参画」「地域社会活動指導者の養成」を目的としており学習プログラムと学園生活の場の提供を通じて、生きがいとなるような地域活動を見つけ実践していくことを支援している。そのため学園生活の間に各コース（園芸、ふるさとコミュニティ、健康ライフ、音楽、陶芸）の学年ごとに卒業後に活動する地域活動グループを結成します。他には趣味を生かしているクラブ活動のO.Bの支部があり、現在はグループ四十七、支部二十一のグループがおおむね年三～五回の地域活動を行っています。

※あかねが丘学園の名称の由来は、当初、学園は大久保町西島に所在しており学園のそばに「あかね川」が流れていますことからついた名称と聞きます。

### ●活動目的

私たちは「あかねが丘学園」三年間のクラブ活動「写真クラブ」のO.Bで結成する「写真クラブ支部」で、あかねが丘学園の地域活動グループとして貴苑で写真の掲示を年六回実施させて頂いております。活動目的は、普段戸外に出られる機会の少ない方々に季節の写真などの展示により癒しの空間を作ればという想いで、写真撮影をし、提供しております。

### ●活動メンバー

明石市立高齢者大学校 あかねが丘学園 写真クラブのO.Bで、男性七人、女性四人 計二十一人（年齢層は七十代中心です。毎年人数の変動があります）代表者は支部長として尾野重之が担当しています。

### ●活動歴

長年、清華苑さまで写真の展示をさせて頂いており、諸先輩に聞くも定かなことが分かりません。あかねが丘学園は現在、三十九回生までであります。「写真クラブ」は二十五回生が立ち上げたと聞き及んでいますので、その後からお世話になっていると思えば、十年以上たっていると思われます。

### ●活動実績（場所・内容）

特別養護老人ホーム清華苑の一階、三カ所に各々A4サイズの写真八枚、計二十四枚を季節の写真、花、お祭り、各種行事などを掲示しております。今年度から同ホーム一階に、同じあかねが丘学園の地域活動グループ「美写っこ・あかね」の展示を私たち「あかね写真クラブ支部」が受け持つことになり、五月よりA3サイズ一枚、四切ワイドサイズ六枚を展示しています。

（あかねが丘学園 写真クラブ支部 ボランティア担当 小山 茂雄）

# 新人スタッフ紹介

今年は、法人全体で13名の新入職員が入職しました。  
特別養護老人ホームには、7名の職員が配属されました。  
フレッシュで元気溢れる職員をどうぞよろしくお願いします。



名前 安部未茄（19歳）  
趣味 食べること  
私の自慢 弟兄が皆かわいいこと  
ひとこと 私は7人兄弟の次女で昔から人と関わる仕事をしたかった為、介護の仕事に就きました。  
知識も経験もない私ですが、一生懸命頑張ります！



名前 熊本恵介（25歳）  
趣味 筋トレーニング、ソフトボール  
私の自慢 1人暮らしが8年になりました  
ひとこと 昨年までは製造業の会社で勤務していました。まだまだ至らぬ点ばかりでご迷惑をおかけしていますが、日々少しずつでも成長していきます。



名前 戸越理乃（21歳）  
趣味 動物の動画を見ること 音楽を聞くこと  
私の自慢 元気に挨拶できる  
ひとこと 学生時代から目標としていた「笑顔と挨拶を大切に」できるような職員になれるように日々頑張っていきたいと思います。



名前 竹本菜名（23歳）  
趣味 Hey!SeyJump/三代目  
私の自慢 よく通る大きい声  
ひとこと 兵庫県加古川市出身です。笑顔を忘れず感謝を忘れず周りの先輩方やご利用者様と関り頑張っていきます。



名前 中迫優衣（20歳）  
趣味 食べること 散歩  
私の自慢 ベッキーと会ったことがある  
ひとこと 毎日違う出来事があり戸惑うこともありますが、様々な発見もあり楽しいです。一生懸命頑張るのでよろしくお願いします。



名前 二星木実（22歳）  
趣味 YouTubeを見る  
私の自慢 うちのネコがとても賢くて可愛いです。  
ひとこと 自分の思いを伝えることが苦手です。  
しかし、人の話を聞くことは好きです。  
何事にも一生懸命頑張っていこうと思います。



名前 尾西直人（23歳）  
趣味 散歩 スポーツ  
私の自慢 逆立ちで歩くことが出来ます  
ひとこと 介護の事に関して今までほとんど学んだ事もなく未経験の身ですが、これから一生懸命頑張っていくのでよろしくお願いします。



総務部長  
田村智之の  
コラムコーナー

皆様とのごえんがあつてこそ!

縁 to 円 to 苑



## 未来の介護福祉士のために

清華苑では昨年度から、教員免許

AIG全英女子オープンで優勝したプロゴルファーの渋野日向子さんの話題でしょうか。日本人選手として四十二年ぶりにメジャー大会を制したことにして、その笑顔にも注目が集まり「スマイルシンデレラ」とも評されました。

少し前に話を戻すと、六月二十一日に行われた米プロバスケットボールNBAドラフトで、八村塁選手が一巡目九位でウイザーズから指名を受けたことが話題になりました。日本人がNBAで一巡目指名されるのは史上初の快挙のこと。年俸は指名順で基準額が設定されており、最大約四億九千百万円だそうです。

当時、八村塁選手にまつわる様々なニュースが飛び交う中で目に留まったのが、中学時代の恩師とのエピソードでした。富山市立奥田中バランスケットボール部コーチの坂本穰治さんは、八村塁選手のバスケットボール部入部が決まるとき、「八村塁選手にいきなり『NBAを目指そう!』と告げたそうです。

そして八村塁選手は坂本コーチのこの言葉を信じて、NBA選手になる夢を実現しました。このことからも子供たちにとって先生の言葉はとても影響が大きいことが分かります。



(総務部長 田村智之)

介護等体験で施設に来る学生の取得希望者の介護等体験の受け入れを行っています。今年度も十の大学から十六名の学生を受け入れています。

介護等体験で施設に来る学生の目的には、今後、教え子の中から介護福祉士を目指しています。私たちが介護等体験の学生を受け入れる目的には、今後、教え子の中から介護福祉士を目指す子供たちが出てきたときに福祉現場やそこで働いている職員達の本当の姿を伝えてもらうこと、そして福祉の仕事が向いている子供たちに「福祉の仕事が向いているよ、介護福祉士を目指そう!」と告げて貰いたいという思いがあります。

そのためには「未来の先生たち」にとって魅力ある福祉現場、そして魅力ある職員である必要があります。簡単なことではありませんが、まだ見ぬ「未来の介護福祉士たち」にとって憧れの存在であり続けるためにも一丸となつて励んでいきたいと思います。



# 朝礼 今日のひとことコーナー

令和元年5月～令和元年7月抜粋

GWに徳島へ一人旅をしました。普段ホテルが多いのですが、今回はこじんまりとした古い旅館に宿泊しました。女将さんがとても親しげに「おかえり」と笑顔で出迎えてくれ、家庭的な雰囲気の旅館でした。大浴場に行くと、浴槽にネギらしきものが浮いており驚きました。気になって女将さんに聞くと、ネギではなく菖蒲を浮かべた「菖蒲湯」だったそうです。こういった端午の節句の風習を初めて知りました。いつも通りにホテルを選んでいたら、知らなかつたこと、出会わなかつたことがあり非常に楽しい旅行になりました。一人で旅行というと不安、寂しいという印象があるようですが、一人だからこそ体験できることもたくさんあるのでお勧めしたいです。

(介護員 塩岡由麻)



私は大学で幼児教育を専攻していました。幼稚園実習では、園児の中にお遊戯の時間に外に飛び出して行ったり、きれいではない言葉を何度も口にしたりといわゆる問題行動の見られる子供がいました。そういう行動の要因は様々ですが、その中には不安や他人の気を引きたいという気持ちがあると言います。そのため、行動に対し叱るというのは、逆効果になります。では、どう対応したら良いのでしょうか。実習先の先生の答えは、問題行動が出る前にその子としっかり関わり、自分のことを見て欲しいという気持ちを満たし、安心して過ごせるようにする。というものでした。特養ご利用者の中でも、認知症状等から様々な行動がみられます。行動はそのものではなく、その背景に目を向けて一つ一つ丁寧に対応していくたいと思います。

(介護員 戸野祐希)

今、私の子どもたちの間ではボイスチャットをしながら、友達同士で遊ぶ無料のオンラインゲームが流行っています。夏休み前、同じクラスの子が親の仕事の関係で8月にメキシコへ行くことになり、クラスでお別れ会をしたとき、メキシコへ行くことになり、クラスでお別れ会をしたとき、なかなかたそうで、その理由がそのゲームで話しながら一緒に遊べるからとのことでした。確かに世界中で繋がつていい部の子は悲しくて泣いたと聞きました。うちの子は泣かなかつたそうで、その子がメキシコに行つても一緒に遊べるでしょう。ですが、メキシコとの時差は十四時間。朝早く、若しくは夜遅くしか一緒に遊べない・・・というのはまだ理解できていません。

(事務所 橋山里穂)

## ★編集後記★

昨年五月よりショートステイ担当の相談員を務め、広報誌制作に携わって参りましたが、今年七月の半ばで老人保健施設清華苑養力センターへ異動となりました。皆様にはこれまで厚情を賜り、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(清華苑養力センター 支援相談員 大久保健太)

今回から広報誌の担当になりました鶴岡です。七月よりショートステイの相談員をさせて頂いております。今回の「はな華」は納涼祭や定期買い物、新人紹介など楽しめる内容になつていて思いました。原稿を書いてくださった方々、「協力ありがとうございます」と書いてくださいました。これからも皆様に楽しんでもらえるようがんばりますのでよろしくお願いします。

(副施設長 生活相談員 岩西太一)



(特別養護老人ホーム 清華苑 生活相談員 鶴岡大樹)